

# いま問い直す、 宮沢賢治と動物

先端総合学術研究科・西成彦研究室主催

**岩**手の自然の要素や民間伝承のモチーフを多く取り入れる宮沢賢治は、岩手の身近なものを中心に、動物の登場人物を巧みに活かしている。

しかしながら、賢治研究では、各作品の研究において、動物の登場「人物」の在り方が解釈される一方、宮沢賢治の全体的な「動物観」はそれほど重要視されていないことが今回の企画の出発点となる。

その作品において動物を取り入れるとともに、非人間中心的世界観を発展させてきた宮沢賢治の創作活動に着眼しながら、宮沢賢治の作品に登場する「動物」の表象について議論し、人間中心主義的な現代の世界観に疑問を投げかけるアニマル・スタディーズに、宮沢賢治文学が与えられるインパクトを探りたい。この作者の文学をより広い世界的な文脈の中に位置づけ、現代において宮沢賢治を読む意味はいかなるものなのか、また動物の視点から書かれた文学の可能性と限界を考察することを目指す。

## プログラム

第一部 11:00 - 12:30

開式

佐々木ボグナ（日本学術振興会）

村山龍（法政大学）

昼食休憩 12:30 - 13:30

第二部 13:30 - 15:00

赤坂憲雄（学習院大学）

応答: 管啓次郎（明治大学）

第三部 15:10 - 16:20

ラウンドテーブル

閉式

## 会場

立命館大学 衣笠キャンパス  
平井嘉一郎記念図書館（正門付近）  
カンファレンスルーム 1F

2019.03.02（土）

11.00 - 17.30

事前申込必要

フロアからの発言を歓迎（1分程度）

申込&問い合わせ

佐々木ボグナ [bognas@gst.ritsumei.ac.jp](mailto:bognas@gst.ritsumei.ac.jp)

